

平成29年度 栄養教員部事業報告

1 活動方針

栄養教諭・学校栄養職員の組織を強化し、職務の専門性を高め勤務条件の改善に努める。

- (1) 専門局相互の連帯意識を高め、組織の強化充実と環境整備を図る。
- (2) 職務の専門性を高めるための自己研修に努める。
- (3) 学校教育活動に積極的に参画し、児童生徒の実態に基づいた食に関する指導の充実に努める。

2 事業内容

月	日	事業名	事業内容
5	12	県部長会（松山市）	・活動方針及び事業計画
6	1	第1回管内栄養教諭 ・学校栄養職員研修会 （伊方町）	・講話（愛南町水産課課長補佐） ・講義（県教育委員会保健体育課指導主事） ・授業参観（栄養教諭による食に関する公開授業） 第4学年学級活動「元気な体づくりのプロになろう」 ・研究協議（研究の視点について）
6	2	第1回市栄養教員部会 （八幡浜市）	・活動方針及び事業計画
8	10	リーダー研修会 （松山市）	・講義「給食献立を教材化するために」 （桐生大学 医療保健学部 教授 宮原公子先生） ・指導講話（愛教研専門局長）
10	24	第38回栄養教諭・学校 栄養職員研究大会 （松山市）	・講演「なぜ食育は大切なのか？～生涯健康・疾病予防の視点から 考える～」 （東京大学大学院 医学系研究科 社会予防疫学分野 教授 佐々木敏先生） ・研究発表及び研究協議（四国中央市栄養教員部）
11	10	第2回管内栄養教諭 ・学校栄養職員研修会	・実践発表（第58回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会報告） ・指導講話（県教育委員会保健体育課指導主事）
12	20	第2回市栄養教員部会 （伊方町）	・衛生管理研究会（伊方町学校給食センター）
2	9	県部長会（松山市）	・本年度の反省及び次年度計画
2	19	第3回市栄養教員部会 （八幡浜市）	・本年度の反省及び次年度計画 ・給食物資選定委員会について
		食育教材	手洗いチェッカー

3 今年度の反省と来年度への志向

- 児童生徒の健康管理の一助となるような食に関する指導を進めていくために、計画的な指導内容となるよう研究を深めていきたい。
- 安心安全な学校給食の提供に努めるとともに、八幡浜市食育推進計画をもとに地産地消を進め、積極的に地場産物を活用していきたい。